

令和8年度

学生募集要項(追加募集)

区分	出願期間	検査日	合格発表日
追加募集	出願書類受付 3月19日(木)9:00～3月23日(月)15:00 ※3月20日(金)は祝日のため除く	3月24日(火)	3月25日(水) 9:00



独立行政法人国立高等専門学校機構

函館工業高等専門学校

問合せ先：学生課教務係

住所 〒042-8501 函館市戸倉町14番1号

電話 0138-59-6333

FAX 0138-59-6330

E-mail kyomu@hakodate-ct.ac.jp

URL <https://www.hakodate-ct.ac.jp/>

※お問い合わせは、平日9:00～17:00にお願いいたします。

目次

1. 入学者受け入れの方針(アドミッションポリシー)	…… 1
2. 募集する学科及び人員	…… 1
3. 出願資格・出願手続き	…… 2
4. 入学者の選抜方法等	…… 3
5. 出願手続きに関する留意事項	……4
6. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	……4
7. 検定料の取り扱いについて	……5
8. 入学料・授業料・就学支援金・入寮等について	……5
9. 入学料・授業料の免除制度について	……6
10. 個人情報の取り扱いについて	……6
11. 入試成績の開示について	……6
12. 受験会場案内	……7

1. 入学者受け入れの方針(アドミッションポリシー)

【求める人材像】

函館高専は工学の知識とスキルを通して社会に貢献し、未来を柔軟で力強く生き抜く人材へと成長したい人を国内外から広く受け入れます。具体的には次のような人を歓迎します。

- ・基礎学力(特に、数学・理科・英語)を有する人
- ・科学技術に興味があり、それを活用して社会へ貢献する意欲のある人
- ・異なる文化を尊重し、国内及び国際社会で活躍したい人
- ・大学や専攻科に進学してさらに高い専門性を身につけたい人
- ・高専・大学・専攻科・実社会などの各ステージを通して成長し続けたい人
- ・仲間と協力してともに成長し、未来を切り開こうとする協調性やコミュニケーション能力のある人

各学科では5年間の教育課程で成長できる素養を持つ人材として、上記の項目に加え、次のような人の入学を期待します。

生産システム工学科	機械・電気電子・情報に関連する知識と技術(たとえば福祉機器の開発, ロボット技術, エネルギー技術, 電子機器・通信技術, コンピュータや情報ネットワーク技術)を身につけ, 社会の課題解決や発展に貢献したいと考えている人。
物質環境工学科	化学や生物工学の知識を身につけ, 農水産業の発展や環境問題への取り組みを通し, 地域や日本・世界の課題や発展に貢献したいと考えている人。
社会基盤工学科	私たちの生活を支えるインフラ(社会基盤)の設計・建設・デザイン, まちづくりの知識を身につけ, 自然災害から人命を守り, 自然再生可能エネルギーの利用をはじめとした自然と調和した持続可能な未来社会の課題解決や発展に貢献したいと考えている人。

2. 募集する学科及び人員

学 科	学科定員	入 学 定 員
生産システム工学科	120名	若干名
物質環境工学科	40名	
社会基盤工学科	40名	

3. 出願資格・出願手続き

1. 出願資格

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業した者(令和8年3月に卒業見込みの者を含む。)
- (2) 中等教育学校前期課程を修了した者(令和8年3月に修了見込みの者を含む。)
- (3) 中学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者(学校教育法施行規則第 95 条各号のいずれかに該当する者)

2. 出願手続

(1) 志願者が在籍(出身)中学校へ提出する書類

志願者は、別紙振込用紙により、金融機関窓口で本校指定口座へ検定料(16,500円)の納入を行い
(今年度実施の推薦選抜又は学力検査による選抜において納付済みの方は、再度の納付は不要です。)、
下記(3)の「ア. 入学願書」及び「イ. 写真票・受験票」を在籍中学校へ提出してください。

(2) 在籍(出身)中学校長による出願書類の提出

在籍(出身)中学校長は、(3)出願書類一覧に基づき、受付期間内に一括して提出してください。

・受付期間:3月19日(木)9:00~3月23日(月)15:00(必着) ※3月20日(金)は祝日のため除く

・受付場所:函館工業高等専門学校 学生課教務係(〒042-8501 函館市戸倉町 14-1)

※出願書類を郵送する際は簡易書留とし、封筒の表に「追加募集出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願書類一覧

ア. 入学願書	・ 本校所定の用紙に必要事項を本人が記入したもの。 ・ プリントアウトの際は、両面印刷してください。 ・ 金融機関で検定料16,500円を志願者名義で振り込みし、発行された振込金受領書(控)を、入学願書裏面に貼り付けてください。
イ. 写真票・受験票	・ 本校所定の用紙に必要事項を本人が記入したもの。 ・ 写真欄には、7cm×5cmの写真(出願前3か月以内に撮影した脱帽、上半身正面向き、無背景のもの)を貼り付けしてください。 ・ <u>写真票と受験票は切り離さずに、本校へ提出してください。</u> (受験票は、窓口受領の場合には受付時に即時交付し、郵送受領の場合には、出身(在籍)中学校あてにFAXによる送付を予定しています。)
ウ. 個人調査書	本校所定の様式により在籍(出身)中学校長が作成したもの。 「各教科の評定」欄は、第1学年及び第2学年は指導要録の記載に基づいて記入し、第3学年については、出願の時点における学習状況を踏まえて記入してください。過年度卒業生については、指導要録の記載に基づいて記入してください。 <u>注)個人調査書は、今年度実施の推薦選抜又は学力検査による選抜を受験し、提出済みの場合には、提出を省略することができます。</u>

※1 様式は、全て本校ホームページからダウンロード可能です。A4縦(アは両面)で印刷してください。

※2 ウの様式は、北海道教育委員会の指定する一般入学者選抜個人調査書様式と同一です。

4. 入学者の選抜方法等

1. 入学者の選抜方法

合格者の選抜は、個人調査書、作文及び面接(人物評価)の結果を総合的に判定して行います。
作文は、技術に関する考えを当日与えられたテーマにより、400字程度で作成します。
個人調査書の学習成績と作文・面接(人物評価)の評価点は以下のとおりです。

個人調査書の学習成績	500点満点
作文・面接(人物評価)	100点満点
合計	600点満点

※第1志望から第3志望学科までの選抜は、スライド方式*により決定します。

※「スライド方式」:第1志望学科が不合格になっても、条件を満たしていれば、第2・第3志望の学科での合格となる制度

※合格者の発表は、各学科単位で行います。

2. 本試験日時及び会場

(1)本試験日時 令和8年3月24日(火)

受付時間	実施項目	実施時間
12時20分～12時50分	作文	13時00分～13時40分
	面接	14時00分～

※検査会場には、保護者等控室は設けません。会場内には、受験者以外立ち入らないでください。

※上靴は必要ありません。

(2)本試験会場 函館工業高等専門学校(函館市戸倉町14番1号)

3. 志望学科の選択等に関する留意事項

(1)志望学科は第1志望のほか、第2志望、第3志望まで選択することができます。

(2)本校では、学力検査による選抜で入学した学生の第1学年の学科は、合格した学科に仮配属となります。

なお、各学科には、第2学年から配属されますが、配属先については、本人の希望と第1学年の学業成績により決定します

4. 合格者の通知

令和8年3月25日(水)に在籍(出身)学校長に当該学校の合格者一覧を郵送します。

5. 合格者の発表

令和8年3月25日(水)9:00に、本校ホームページに「合格者の受験番号」を掲載します。

なお、合格者本人に合格通知書を郵送します。

また、本校では合格・不合格に関する電話等の問い合わせには一切応じられません。

6. 入学手続き

入学に必要な手続きについては、合格通知書を郵送する際に併せてお知らせしますので、令和7年3月27日(金)15:00 までに、入学手続き(必要書類の提出、入学料の納付等)を行ってください。なお、期限までに入学手続きをしない者は、本校に入学する意志がないものとして、取り扱います。

5. 出願手続きに関する留意事項

- (1)出願書類受理後は、書類の記載事項の変更、書類の返却には応じられません。
- (2)出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

6. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

函館工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課教務係までご相談ください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第二次まとめ)」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても教務係窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なさると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

修学上の合理的配慮に関する相談窓口 (担当係名)学生課 (電話番号)(0138)59-6332

(FAX)(0138)59-6330(Mail)gakahosa@hakodate-ct.ac.jp

7. 検定料の取り扱いについて

(1)災害救助法適用地域における災害で被害を受けた志願者への検定料免除

前年度の入学者選抜試験実施日から、当該年度の入学者選抜試験実施日の前日までの間に被災し、以下の①又は②に該当する方は、手続きについてご案内しますので、学生課教務係まで連絡してください。

- ① 本人または学資負担者が、災害救助法の適用を受けた地域で被災し、居住する家屋が半壊以上(床上浸水を含む。)の被害を受けた場合。
- ② 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡(行方不明を含む。)した場合。

(2)振込済の検定料は、返還いたしません。ただし、検定料を二重に払い込んだ場合は、検定料の返還請求ができます。該当する場合は必ず学生課教務係まで連絡してください。

8. 入学料・授業料・就学支援金・入寮等について

(1)入学料 84,600 円(予定)

※入学手続き時に納入することとなります。

※既納の入学料はいかなる理由があっても返還できませんので、ご承知おきください。

(2)授業料 年額 234,600 円(予定)

※前期と後期の2回に分けて納入することとなります。

(3)高等学校等就学支援金

授業料に充当する支援金を国が支給する制度で、国立高等専門学校では、第1学年～第3学年の学生が対象となります。

所得判定基準(年収 910 万円程度)未満の世帯が就学支援金支給の対象となり、原則として通算 36 月の間、月額 9,900 円(年額 118,800 円)が支給されます。

なお、保護者等(学生の親権者)の所得に応じて、加算または不認定となることがあります。

※第4学年以上は、国策による高等教育の修学支援新制度(授業料減免+給付奨学金)による支援を、申請に基づき受けられます。詳細は第3学年時にご案内予定です。

(4)奨学金制度

在籍中は、日本学生支援機構(JASSO)や地方公共団体、その他団体等からの公募に基づき、経済的な修学支援を目的とした奨学金制度に申請することができます。申請資格や月額、応募時期等の情報は、随時、学内掲示板等にてお知らせしています。

例)函館工業高等専門学校メデック奨学金、道新ウェルネット奨学金、日本学生支援機構奨学金(貸与第一種/有利子・貸与第二種/無利子・給付型)、北海道公立高校生等奨学給付金など

(5)入寮希望者について

追加募集合格者に係る本校学生寮(春潮寮)への入寮選考は、推薦による選抜・一般学力検査による選抜・帰国生徒特別選抜による合格者の入寮選考後に行います。

このため、追加募集合格者は、たとえ遠方からの入学予定者であっても、学生寮(春潮寮)の定員超過により入寮できない可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

9. 入学料・授業料の免除制度について

(1) 入学料の免除、徴収猶予

以下に該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき、家計基準を踏まえて選考のうえ、入学料の減免又は徴収を猶予される制度があります。

- ・入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合
- ・入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

(2) 授業料の免除

以下に該当し、授業料の納付が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき、家計基準を踏まえて選考のうえ、授業料の免除を受けられる高専機構内制度(災害等の特別な事由)があります。

- ・学資負担者が死亡した場合
- ・学生若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合

※事由発生日は、授業料各期の納付期限前1年以内であること。

10. 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的にも利用します。

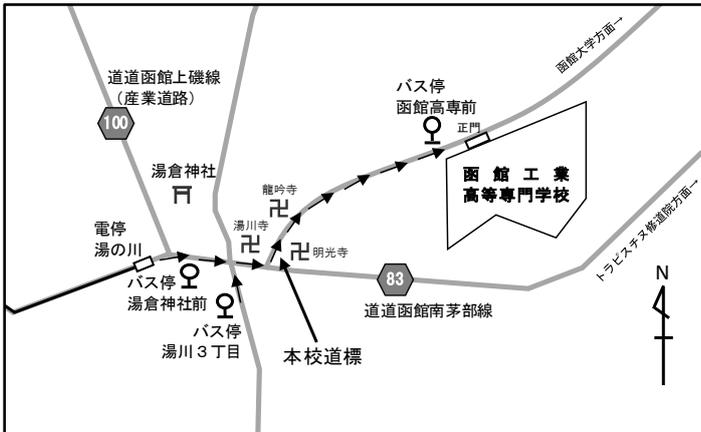
- (1) 入学手続き
- (2) 入学後の教育・指導
- (3) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (4) 入学料・授業料免除に関する業務
- (5) 奨学金に関する業務

11. 入試成績の開示について

追加募集は、対象外です。

12. 受験会場案内

函館高専【追加募集】



住所:函館市戸倉町 14 番1号

検査会場までの主な交通機関

●JR新函館北斗駅から

- ・はこだてライナー乗車(所要時間約 19 分)
函館駅下車

●JR函館駅から

- ・函館バス(82 系統)乗車(所要時間約 40 分)高専前下車
- ・函館バス(95 系統)乗車(所要時間約 25 分)湯倉神社前下車 徒歩(所要時間約 15 分)またはタクシー乗車(所要時間約3分)高専まで

- ・路面電車(2系統, 5系統)乗車(所要時間約 30 分)湯の川終点下車 徒歩(所要時間約 15 分)またはタクシー乗車(所要時間約3 分)高専まで

- ・タクシー乗車(所要時間約 20 分)高専まで

●函館空港から

- ・函館バス(7系統[A・B・E・F])乗車(所要時間約 15 分)湯倉神社前下車 徒歩(所要時間約 15 分)高専まで
- ・タクシー乗車(所要時間約 10 分)高専まで